

# ごあいさつ

新緑の候、皆様には愈々ご健勝にて各方面にご活躍のことと存じます。さて長崎西高関西同窓会は毎年総会を開き、会員相互の親睦を深めてまいりました。昨年は会員の家族の方を含めて仁川方面へのたのしいピクニックを実施致しました。本年は会の方針通り1年おきの大きな総会を開催する運びとなりました。当日は校長先生をはじめ、恩師の先生方、本部同窓会・在京同窓会の代表の方々にもお出でいただく予定です。出し物あり、福引ありでなごやかなたのしい会にするよう計画しておりますので、皆様おさそいあわせの上ご出席下さい。久しぶりに皆様の長崎ペンをおききたいと思っております。以上簡単ではございますが、63年度総会のご案内を申し上げます。

昭和63年 5月15日

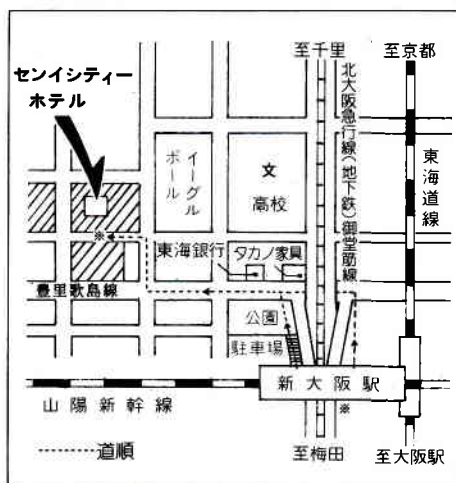
長崎西高関西同窓会

会長 梁瀬 健

## 総会ご案内

第7回総会を下記の通り開催いたします。

- と き……昭和63年 6月12日(日)  
12:00～
- ところ……新大阪センイシティー・ホテル  
TEL06-394-3331
- かいひ……男性 8,000円  
女性 6,000円
- 懇親会……福引, フラメンコ踊り・有
- 出欠のご返事は年会費の払込通知書の  
通信欄にてお願いします。



# 昭和62年度 活動報告

## 総会開催

第6回総会を昭和62年6月7日(日)仁川ピクニックセンターに於いて開催した。参加者73名が初夏の青空の下で子供達と壮快な汗をかいた。

## 年会費

62年度(4月1日~63年3月31日)に納入された会員は230名です。

## 同窓会派遣

本部同窓会の総会が昭和62年6月26日(金)、長崎グランドホテルで開催され430名の出席があった。関西から梁瀬会長が来賓として出席した。尚、当日午前中母校を表敬訪問し田中校長等と親しく交流を計った。

## 会議

同窓会活動のための会議は、理事会1回、幹事会7回、打合せ会2回、行なった。

## 組織人員

786名(63年度・総会案内を郵送した人数)尚、62年度のとき、転居先不明等で郵便の戻りが61名あった。

## その他

関西同窓会の校章入り小旗(45×35cm)を中の家旗店(長崎市鍛冶屋町)で20本製作した。尚1本を母校に寄贈した。(玄関ホールに展示されている)

●62年度役員会は下記の通り実施しました。

年月日	会議名	出席者数
62.3.28	幹事会	13名
4.27	打合せ	3
5.16	幹事会	8
5.17	打合せ	7
5.30	幹事会	11
6.7	総会	22
8.28	幹事会	8
11.22	〃	17
63.1.25	理事会	8
3.16	幹事会	9
4.2	〃	11

# 昭和63年度 活動計画(案)

## 同窓会組織の整備強化

- 20回生以降の活性化
- クラブOB会の促進
- 在京同窓会の総会に2名派遣
- 63年度の年会費納入者300名目標



# 昭和62年度 会計報告書

自 昭和62年 4月 1日  
至 昭和63年 3月 31日

収入の部

支出の部

大 科 目	小 科 目	金 額	大 科 目	小 科 目	金 額
年 会 費	230名	230,000 <sup>円</sup>	事 業 費	総会、懇親会会費	127,980 <sup>円</sup>
総会懇親会会費	22名(家族共73名)	11,000	事 務 費	旅費、交通費	30,000
寄 付 金	寄付金	40,500		図書費	12,000
雑 収 入	ハタ売上金	1,000		印刷費	91,380
	受取利息	676		消耗品費	3,990
繰 越 金	前期繰越金	434,746		通信費	58,990
				雑費(払込手数料)	6,900
			会 議 費		15,890
			対 外 費	祝金	10,000
				広告宣伝費	20,400
			繰 越 金	次期繰越金	340,392
合 計		717,922	合 計		717,922

<会計 艶島久夫 7回生>

<監事 平道勝彦 8回生>

# 昭和63年度 会計予算(案)

自 昭和63年 4月 1日  
至 昭和64年 3月 31日

収入の部

支出の部

大 科 目	小 科 目	金 額	大 科 目	小 科 目	金 額
年 会 費	300名×1,000	300,000 <sup>円</sup>	事 業 費	総会、懇親会会費	1,100,000 <sup>円</sup>
総会懇親会会費	150名	1,100,000	事 務 費	旅費、交通費	50,000
寄 付 金		100,000		図書費	10,000
雑 収 入	受取利息	3,000		印刷費	120,000
繰 越 金	前期繰越金	340,392		消耗品費	30,000
				通信費	70,000
				雑費	9,000
			会 議 費		50,000
			対 外 費	祝金	20,000
				広告宣伝費	20,000
			予 備 費		364,392
合 計		1,843,392	合 計		1,843,392

## 年会費納入のお願い

当同窓会も7年目を迎え、軌道に乗ってまいりました。昨年度の年会費納入者は230名あり、会の活動に運用させていただきました。これも偏えに、皆様のご協力の賜ものと厚くお礼申し上げます。今後とも同窓会発展のため、ご支援ご協力をお願い致します。

記

- 年 会 費……………1,000円
- 会費納入方法……………郵便振込
- 口 座 名……………長崎西高 関西同窓会
- 口 座 番 号……………大阪4-313904

※同封の郵便振込用紙をご利用下さい。(振込料は当会で負担)



# 母校だより



長崎県立長崎西高等学校  
教頭 大原 啓一

同窓会の皆様今日は！私は本年4月、10年ぶりに再び古巣の西高に帰ることが出来たことを大変喜んでおります。26年前の昭和38年度から爾来16年間本校の教育に微力ながら全力を尽くして参りました。第18回生、21回生、24回生、27回生、31回生の皆様とは3年間ずっと、ご縁がありました。正課の授業、添削指導、運動会のパレード作製、「もし教」等いろいろな面で苦楽をともにしてきましたが、いまはとても懐かしく思い出されてなりません。心静かに職員室の窓から正門を眺めていますと、いつしか回想が遠くへさかのぼっていくことがあります。数本の大きな楠木の見下す遅刻坂を汗しながら登ってくる肩秀でたる若人達。しかも、その手には重そうな鞆をしっかりと握りしめた凛々しい姿が、まるで昨日のごとく甦ってきます。鞆の厚さや重さにも今昔の感があります。

さて昭和63年3月5日(土)永年の念願叶って、西高第2運動場の竣工式が多数の来賓を迎えて挙行されました。これは偏に県教育委員会をはじめ同窓会、西高野球部OB会、PTAの皆様方の絶大なご支援の賜であることは言うまでもありません。衷心より感謝申し上げます。

ます。

4月24日(日) 野球部OB会・同窓会主催による西高第2運動場開きが、伊藤県教育長をはじめ来賓多数ご出席頂き、晴天の下でOB約40人参加しての紅白試合、午後から長崎東高校野球部を招待し、現役たちの東西対抗戦を行ない、新球場のスタートを飾りました。第2運動場は学校から4キロ離れた城山台2丁目に、昨年夏から工事を始め、今年3月に完成。総面積は、約1万6千平方メートルで、野球場、テニスコート、部室を備えています。目の前には山の緑が広がり、練習環境は申し分ありません。これまで学校の狭い運動場でラグビー部、サッカー部と共用していただけに、関係者の喜びは大変なもので、他に例えようもありません。学校関係者のみならず地域住民の期待も大きく、はや甲子園出場へ熱き思いが寄せられています。

また、わが西高では、生徒数1539名、職員数80名が一体となって学習・クラブ活動にと精進努力しております。このことは、今年創立40周年を迎える本校を更に発展させる活力になるものと確信しております。

学校の施設、立地条件、生徒諸君の前向きな意欲、皆様が営々と築いてこられた20年の伝統等すべて条件は完璧なまでに整備されました。文武両道において機は熟しました。40周年に相応しく、田中校長の強力なリーダーシップのもと学校挙げて、新生西高の躍進を目指しています。どうか母校西高に皆様の限りないご支援をお願いいたします。長崎にお帰りの時はぜひ母校西高にお立寄りください。末筆になりましたが、皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。

昭和63年4月26日

## 在京同窓会

今年の総会は16回生が担当幹事として開催いたします。

とき 昭和63年10月1日(土) PM2:00～  
ところ 全国社会保険協会ホール  
新霞ヶ関ビル内 ☎03-580-6988  
交通 地下鉄・虎ノ門下車徒歩3分

(62年度は320名が出席した)

## 県あげ大会

今年も長崎県人会(関西)主催のコマ廻しコンクールを兼ねて開催。

とき 昭和63年5月22日(月) 11時～15時迄  
ところ 豊里大橋(淀川畔)の橋下の公園  
交通 地下鉄・東梅田より守口、大日行太子橋今市下車3号出口より出る

(62年度は約500名が参加した)



# 昭和六十二年度クラブ活動・高校総体情報

## ＜文化部＞

### 放送部

第33回高校放送コンテストの地区大会・県大会・全国大会において朗読・テレビ製作・ラジオ製作の各部門で好成績を収める。

## ＜体育部＞

### 陸上部

男子個人土橋選手 200 m 一位  
400 m リレー 二位  
千 600 m リレー 三位  
女子個人中村選手 400 m 一位  
400 m リレー 二位

### 水泳部男子団体準優勝

男子個人  
多田選手 400 m 自由型 一位  
千 500 m 自由型 一位  
北村選手 200 m 個・メニ 二位  
400 m 個・メニ 二位  
400 m リレー 三位  
400 m 混合リレー 三位

### 同・女子団体三位

女子個人  
佐々木選手 100 m 自由型 一位  
200 m 自由型 二位  
400 m リレー 三位  
400 m 混合リレー 三位

### 卓球部男子団体第三位

準々決勝をフルセットのすえ勝ち準決勝進出、しかし優勝候補

補の南山高校に敗退した。  
柔道部

団体は決勝トーナメント出場個人は山下選手が軽重量級三位  
剣道部男子第三位

決勝トーナメントで優勝候補の東高に三対二で勝ちそのまま行くかと思われたが南山高校と

## 見よ！西高パワー！



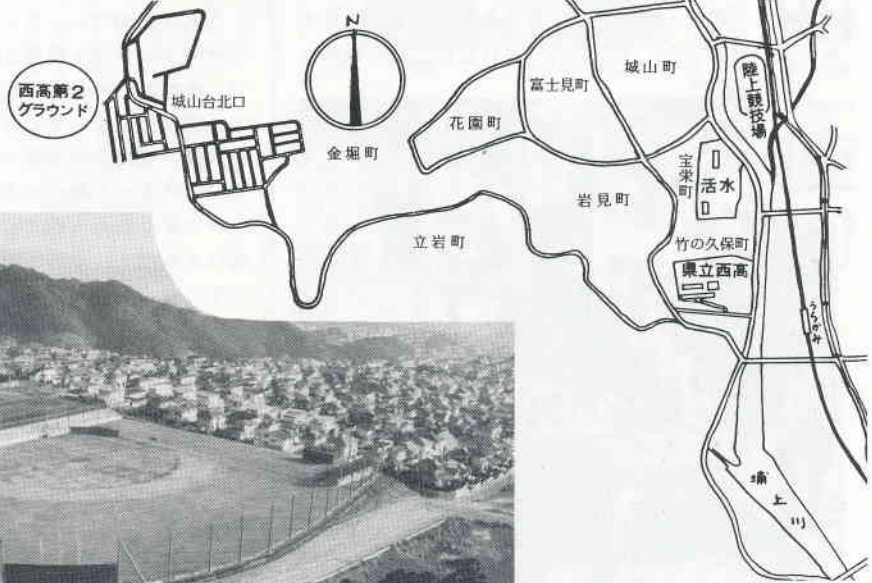
## 俺たちも頑張ってるよ!!

引き分け、本数の差で惜しくも涙をのんだ。  
同・女子第三位

昨年の優勝高長崎商業に接戦の未敗退  
個人では宮本選手が見事優勝  
ウエイトリフティング部

団体四位、個人は 60 kg 級で  
浦田選手二位

バスケットボール部  
男・女共ベスト8 進出



＜提供・荒木美佐子先生（3回生）＞

# オジサンも頑張っとなるけん！

## フルマラソン完走記

高橋 力 (22回)

35才を過ぎ体力の衰えを感じていた去年の3月、ふとしたきっかけでジョギングを始めました。高校時代に卓球部に所属し持久力には自信があったものの、大学、会社と18年間スポーツらしいスポーツとは縁がなく、2kmを走るのがやっとで、翌日には、体のあちこちが痛んで何日も疲れがとれない状態でした。

その頃、テレビ放送で、87年篠山ABCマラソンの中継がありました。いつも中継で見ているエリートランナーの走りっぷりとは別に、一般市民ランナーが時間制限と闘かいながら必死に完走を目指している姿に感動し、一年後フルマラソンにチャレンジする決心をしました。

まずは基礎体力作りと定期的な練習です。毎日仕事上難しいので、毎週の土、日に集中の走り込みをすることにしました。ホームコースは長居公園の周回コ



ースです(1周2,813mで15周でフルマラソンの42.195km)。1ヶ月ほどで10km程度走れるようになり、10kmロードレースに参加できるようになりました。しかし問題は夏場の練習です。暑いからといって練習を中断しては走力が落ちますので、給水を考え、練習時間を夕方にするとかして夏場を乗り切りました。秋になると持久力がつき20kmほどまで距離を延ばせるようになりました。目標のレースを新春の奈良ハーフマラソンと3月の篠山ABCマラソンに絞り、長崎に帰省の時も坂道コースを中心に練習を重ねました。しかし長い距離を走るとひざが痛み、一時、走られない状態になりましたが、整形外科医のアドバイスで、それも克服することができました。

さあ年も明けレースシーズンです。まずは奈良のハーフマラソンは1時間30分(2部男子3,573人中483位)で、まずまずの成績でした。次は篠山ABCマラソンです。練習でも走ったことのない42.195kmへの挑戦です。当日は、受験生の心境でした。レースは11,700人が参加で、スタート地点から最終ランナーが通過するまで6分ほどかかる人数でした。レースは30km迄は順調に走れましたが、それ以降は足の痛みやマメができたりでやっとの思いでゴールしました。記録は3時間26分(未登録男子9,211名中1,015位)でした。走る苦しみは次第に素晴らしい苦しみになってきてます。関西同窓会の皆さん、来年の篠山マラソンに1年計画でチャレンジしてはどうですか。皆さんと篠山で会える日を楽しみにしております。

### 集合

#### むかしの仲間

#### いまの仲間

同期会が横のラインとしたら、縦のラインのクラブOB会の集い、及び現在の趣味、同好者の集いをもって同窓会を活性化させましょう。

# 「学校唱歌」に楽聖・モーツァルトの旋律

明治から戦前の昭和にかけて歌われた「学校唱歌」には楽聖といわれるW・A・モーツァルト(1756~1691)の旋律を借りたものも28曲もある一と、ファンの大学教授が10数年がかりの楽譜収集調査で突き止め、「同好クラブ会員」の協力で全曲をテープに収録した。

有名な歌曲「春へのあこがれ」の同一メロディーが6つの唱歌に使われていたり、オペラ「女はみんなこうしたものの」の三重唱が南北朝時代の武将、楠公・楠正成、正行親子の「青葉の別れ」の歌になっていたことなどがわかり、音楽関係者の注目を集めている。

## 「春の曙」など28曲に使用

### 梁瀬教授(大阪)が調査、収録



調査した梁瀬大阪教育大教授

調査研究したのは大阪教育大教授・梁瀬健さん(五巴)奈良市藤の木台。専門は視覚生理学だがモーツァルトの大ファン。明治三十四年の「重音唱歌集」から戦前の小、中学校の音楽教科書を中心に昭和二十八年までの計七十冊を入手、その中から作曲者「Mozart」とある二十八曲の譜面を集め原曲を調べた。

その結果、モーツァルトのメロディーを使った唱歌は二十八曲あったが、大半は歌詞が文語や軍国調だったため戦後の教科書から姿を消していた。二十八曲のうち同じメロディーが複数の歌に使われているケースがあり、

結局は使用メロディーは十七曲。中でも使用回数が多いのが「春へのあこがれ」で同名の曲と「春の曙」、「うれしき春」、「五月の歌」のほか、平家物語の平教盛をしのび、そのうえに季節も変えた「須磨の秋」、楠公親子の別れを歌った「楠母」にも登場している。

「モーツァルトはメロディーがきれいで、日本語に合うので唱歌に多く取り入れられたのでしょう。戦前の人にはモーツァルトの曲という意識はほとんどなかったのでは」と梁瀬さんは解説。

この研究には梁瀬さんが参加する「モーツァルト

トばかクラブ」(七十人の会報編集係・三木年男さん(三)西宮市仁川百合野町一)が協力、会員の大阪市内のオルガン、ピアノ奏者高田充子さん(三八)と滋賀県立石山高校講師でソプラノの渡辺文子さん(三七)が演奏、歌ってラジカセに録音した。

「音楽は楽しいもの。これでモーツァルトがいつそう身近に感じた方もおられるのでは」と三木さん。

テープは譜面のコピー付きで送料込み二千円で希望者にわけている。問い合わせは三木さん ☎0798(53)4805へ。

右記は、昭和62年9月10日号「読売ファミリ」に掲載されたもので、また昭和62年7月27日「読売新聞」夕刊にも同様な記事が掲載されています。

#### 長崎西高生度チェック

- ① 遅刻坂の距離は何十米か?
- ② 校章の紋章のモチーフは?
- ③ 赤点は何点以下か覚えてる?
- ④ 現校長先生は何代目か?
- ⑤ 木造校舎は残っているか?
- ⑥ 現在クラブはいくつあるか?
- ⑦ 始業時間は何時分か?
- ⑧ 近年の運動会の三大名物は?
- ⑨ 在職期間の一番長い先生は?
- ⑩ 自律の像はいつできたか?
- ⑪ 甲子園での最高ランキングは?
- ⑫ 一時限は何分授業か?
- ⑬ 応援歌はいくつあるか?
- ⑭ 今年で創立何周年か?
- ⑮ 西高の出入口の数は?
- ⑯ 現在の教室に暖房はあるか?
- ⑰ 第二グラウンドはどこにあるか?
- ⑱ 現在の西高卒業生は約何人か?
- ⑲ 現在の教職員の総数は?
- ⑳ 関西同窓生は約何人?

(答は8頁)

#### へお知らせ

関西同窓会の事務局を左記へ移転いたしました。

〒530 大阪市北区東天満二一五―二〇

古林ビル6階

みふね建築設計事務所内

連絡者 久米 隆(22回生)



# 「旅」

長崎から始まった旅があった。遙かなる時をのぼれば遣随使や遣唐使たちのいにしへの旅。

そして、世界の国から長崎へやってきた様々な旅があった。いつの時代でも、長崎は「旅」を通じて様々な人々や文化と交流し、日本の近代化に大きな役割を果たしてきました。

「旅」それは、多彩な広がりをもった魅力に触れること、その魅力を発見すること。

私達は、昭和65年に「旅」をメインテーマとする長崎ならではの博覧会を開催します。この博覧会によって、いつもドラマチックであった長崎の歴史と文化を確認し、長崎の魅力を再発見するとともに、来たるべき21世紀を展望するためのであいと交流の場とし、豊かな未来を築く明日への確かな一歩を踏出したいと思います。

サブテーマは「海と心と2001」。

これらのテーマが、「長崎旅物語」「長崎旅の回廊」「長崎旅のステージ」として展開されることにより、人々は長崎の輝きにふれ、旅のもつ多くの魅力を体感することでしょう。



## シンボルマーク

長崎の伝統芸能である「籠頭」をもとに、「旅」の「と」長崎の「n」を背で、開催年「1990」を赤で表現しています。

# 長崎「旅」博覧会を全国に

## 長崎「旅」博覧会の特色

### 長崎の魅力の集大成

主会場の他に長崎市内の特色ある7つのゾーンの中に市内会場を設置し、長崎市内全体が面白いといったこれまでにない新しいスタイルの博覧会です。

### わが国初の海上ステージ

海と港を最大のステージとして昼と夜を多彩に彩る博覧会の演出が行われます。

### 国際色豊かなまつり

長崎ゆかりの国々、姉妹都市関係などの親密な友好関係をもっている国々、そして長崎が求める新しい隣人達を中心として、国際色豊かなまつりが展開されます。

### 長崎すべてがまつりの舞台

長崎グルメコース、島めぐり、歴史探訪などの長崎県内各地の様々な「旅」の魅力が「もてなしの心」とともに用意されています。

## 開催概要

- 名称 長崎「旅」博覧会
- テーマ 「旅」―海と心と2001
- 主会場 長崎港松が枝国際観光埠頭、同埠頭地先海上、グラバー園
- 会期 昭和65年8月3日～11月4日(94日間)
- 開場時間 11:00～21:00
- 想定入場者 150万人
- 主催者 長崎県・長崎市・長崎商工会議所
- 実行主体 長崎「旅」博覧会協会



たびと(旅人)君

## 西高生度チェック答

- ①約80m ②柏 ③35点 ④11代目 ⑤なし
- ⑥文化部23運動部17同好会4 ⑦8時40分 ⑧もしも教師でなかったら、西高バレー、東海道
- 53次 ⑨塚原末子先生 ⑩昭和五十三年 ⑪ベスト八
- ⑫50分 ⑬2(現在使われていない) ⑭四〇周年
- ⑮正門と裏門の2カ所 ⑯なし ⑰城山台 ⑱39
- 回生まで一万九、二八八名 ⑲79名 ⑳約八百名

## 編集後記

- ▲ 今回は会員のトピックスと体験記を掲載しました次回も皆さんからの近況等を「募集」します
- ▲ 郵便の戻りが毎年多く発生しております転居の際は必ず各回幹事が事務局にご連絡下さい
- ▲ 同窓会の活性化のため若い人の参加を熱望します又、女性幹事の進出も期待しております
- ▲ 在京同窓会発行の「コミュニティ」及び、長崎「旅」博のパンフレットより一部転載しました

○総括文責 川内工一(14回生)

○印刷所 今道印刷

今道進(4回生)

☎(075) 463-6024